

ご家族の関わり



お父さんの役割

男性が「父親」として自覚が高まるのは、お母さんのお腹を通して胎動を感じる、赤ちゃんを抱っこする、というふうに子どもの存在を実感することや、顔が似ているなど自分との血のつながりを感じる時です。

妊娠中から、お父さんはお風呂の当番、おむつをかえる、など役割を決め、意識づけしておくといいでしょう。

お父さんは毎日忙しく、なかなか家のことができないかもしれません。でも、お母さんがお父さんに望むのは、家事や育児を手伝ってくれることだけではありません。むしろ、それ以上に嬉しいのは、感謝やねぎらいの言葉です。

「ありがとう」「毎日頑張っているね」

口にするのは照れてしまうというお父さんも、ぜひ言葉にして伝えてください。



お兄ちゃん・お姉ちゃんとの関わり

赤ちゃんが生まれる前、生まれてから、お兄ちゃん・お姉ちゃんがおねしょをしたり、ベタベタと甘えてきたり、いつもよりわがままになったりすることがあるかもしれません。それは「ぼく・わたしを見て！さみしいよ！」のサインかも…どうしても赤ちゃん中心の生活になってしまい、周りも赤ちゃんばかりに目がいてしまいます。それは仕方のないことですが、赤ちゃんが眠っている間はお兄ちゃん・お姉ちゃんとの時間をしっかり作ってあげてください。「〇〇くん・〇〇ちゃんも、赤ちゃんと同じくらい大切だよ。大好きだよ。」と伝え、抱きしめてあげたり、目と目を合わせて話を聞いてあげたりしてください。

また、お兄ちゃん・お姉ちゃんにも育児に参加してもらうのも良いかもしれません。オムツを準備してもらったり、赤ちゃんが泣いたときそばにいて話しかけたり、子守唄を歌ってもらったり。そのときはたくさん褒めてあげてくださいね。お兄ちゃん・お姉ちゃんが生まれたときの様子を話してみるのも良いかもしれませんね。





立ち会い出産

●ご家族の準備

出産予定日を周囲に知らせ、仕事の融通が利くようにしておきましょう。
予定日前後は、出張や外せない会議などをなるべく入れないようにして、仕事の日程にゆとりをもつようにしましょう。
また、いつでもお母さんと連絡が取れるようにしておきましょう。



●お産のサポート

お産はお母さんと赤ちゃんだけのものではありません。
お父さんをはじめ、家族みなでお母さんと赤ちゃんのサポートをしましょう。
陣痛が来ているときに腰のマッサージをしたり、一緒に呼吸法を試してみたり、陣痛の合間に水分補給のお手伝いをしたり・・・
そばに付き添って手を握るだけでも、お母さんにとっては心強いものです。
お父さんやご家族にできることはたくさんあります。
当院や市町村で行っている母親（両親）学級などにも、積極的に参加してみましょ

●立ち会い出産

原則として、分娩室内での立ち会いは、ご家族1名のみとしています。

なお、帝王切開術の場合は行っておりませんのでご了承ください。

出産までにご家族と話し合っておきましょう。

- ・立ち会い出産を希望する or 希望しない
- ・その他、希望すること





面会について

病院の面会の運用に準じ、対応しています

●面会時間 13:30 ~ 17:00

お産後のお母さんにとって、赤ちゃんと過ごす時間はとても大切です。
お母さんと赤ちゃんの安静のために、面会時間の厳守をお願いいたします。
面会は家族または家族に準ずる方に限ります。
ご家族以外の面会は控えていただきましょう。

●駐車料金の割引について

入院時、出産時、退院時の付き添いのご家族には、駐車料金の割引を行っています。
病棟スタッフが駐車券に印鑑を押しますので、看護室までお越しください。また、精算前に必ず1階正面玄関で駐車券の処理（パンチ）を受けてください。

入院時・出産時・退院時の付き添い	2時間まで 100円	3時間まで 200円	4時間まで 300円	4時間を超えた場合 400円
上記以外の面会	30分毎に100円加算			

●赤ちゃんを感染から守るために

赤ちゃんは抵抗力が弱く、感染症により重篤な症状を引き起こす可能性があります。
来院・面会時は手指衛生と、マスクを着用していただくようお願いいたします。

以下の場合、面会できません

●7日以内に以下の症状がある場合

- ・発熱または悪寒
- ・咳、鼻水
- ・強い体のきつさ、だるさ
- ・のどのイガイガやいたみ
- ・においや味がわからない
- ・下痢、嘔吐、腹痛

●15歳未満のお子さま